

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0116/200515/04/00	事業の種類	5			
年度	19	事務事業名	ごみ箱等設置補助事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名	ごみ箱等設置補助事業		担当部課名	環境課			
政策名	環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり						
施策名	廃棄物処理		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規	ごみ箱等設置費助成金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市全市民					
	誰(何)を対象として	相生市全市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ箱の設置に対する助成(設置事業費の1/3) 上限 70,000円 平成19年度より改正				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	設置助成件数	件	11	5	3	8

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3
	主幹以下職員	0.100	0.100	100.0	0.100	100.0	0.100	100.0
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	1,846,208	1,573,434	85.2	1,609,685	102.3	1,558,772	96.8
	事業費	519,000	584,000	112.5	80,000	13.7	560,000	700.0
	合計	2,365,208	2,157,434	91.2	1,689,685	78.3	2,118,772	125.4
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-	80,000	#####	560,000	700.0
	一般財源	2,365,208	2,157,434	91.2	1,609,685	74.6	1,558,772	96.8
	合計	2,365,208	2,157,434	91.2	1,689,685	78.3	2,118,772	125.4

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ箱設置補助金							
指標説明(式)		ごみ箱設置事業費×1/3(上限70,000円)							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,300,000	1,000,000	76.9	910,000	91.0	560,000	61.5	
	実績	453,000	584,000	128.9	76,000	13.0			
指標名2		ごみネット設置補助金							
指標説明(式)		ごみネット購入費×1/3							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	66,000	1,000	1.5	4,000	400.0			

【効率性】

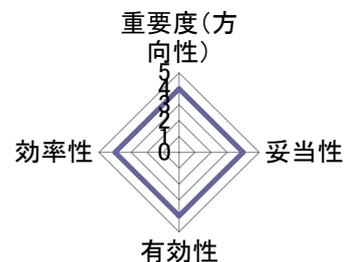
指標名1		ごみ箱設置費用(平均)							
指標説明(式)		事業費×2÷助成件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	151,000	233,200	154.4	80,000	34.3	210,000	262.5	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	ごみ箱の設置等によりカラスやねこによるごみの散乱防止及び美観確保につながっているため、助成については妥当である。	4	4
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションの維持管理等地域の環境美化につながっている。	4	4
効率性	負担割合の適正化	ごみ箱設置助成に対する負担割合を見直したことにより、経費の節減となった。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	ごみ箱設置助成に対する負担割合の見直しを実施したが、助成件数が減った。今後においては、PR等の必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	目的の妥当性	ごみ箱設置助成は必要であるが実績に基づき助成件数を減らした。
H19→H20予算反映額		△350千円

(2) 20年度の実施方針

ごみステーションのあり方も含めて事業継続について検討する。

検討の有無	-
総合指標	22